平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月25日

上場会社名　株式会社 千趣会　　上場取引所　東
コード番号　8165　URL　http://www.senshukai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田邉　道夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画本部長　(氏名) 星野　裕幸　TEL 06-6881-3220

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	100,954	△1.2	1,575	―	2,012	490.9	1,190	―
24年12月期第3四半期	102,219	6.6	127	△88.7	340	△66.7	△55	―

(注)包括利益　25年12月期第3四半期　2,346百万円　(297.6%)　24年12月期第3四半期　590百万円　(△38.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	27.49	―
24年12月期第3四半期	△1.28	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	92,564	46,326	50.0	1,069.67
24年12月期	92,887	44,932	48.4	1,037.48

(参考) 自己資本　25年12月期第3四半期　46,326百万円　24年12月期　44,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	10.00	―	10.00	20.00
25年12月期	―	12.00	―		
25年12月期(予想)				12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,500	△0.9	4,000	89.6	4,400	59.1	3,500	72.5	80.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	47,630,393 株	24年12月期	47,630,393 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	4,321,785 株	24年12月期	4,321,445 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	43,308,820 株	24年12月期3Q	43,309,210 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成25年１月１日～平成25年９月30日）におけるわが国経済は、株価回復による一部の高額消費の好調や製造業の業績改善による設備投資の増加など景況感は徐々に回復しつつあります。しかしながら、原材料価格の上昇や電気料金の値上げなどもあり、国内景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループは、今年度を最終年度とした「中期経営計画」の目標達成に向け、グループ一丸となって取り組んでおります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、1,009億54百万円（前年同期比1.2％減）となりました。

利益面につきましては、通信販売事業における売上総利益率の改善や販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は15億75百万円（前年同期比1,134.8％増）となりました。

経常利益は20億12百万円（前年同期比490.9％増）、四半期純利益は固定資産除売却損等により11億90百万円（前年同期は55百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の概況

（通信販売事業）

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、カタログ事業における秋物商品の売上微減と頒布会事業の会員減による売上減少により、907億12百万円（前年同期比1.0％減）となりました。

利益面につきましては、戦略商品の販売増加による原価率改善やバーゲン・処分販売の効率化による商品評価損の減少等により、売上総利益率は改善いたしました。また物流関連費用の低減及びカタログ印刷用紙の見直しによる印刷費の削減等により、営業利益は11億84百万円（前年同期は２億93百万円の営業損失）となりました。

① カタログ事業

当第３四半期連結累計期間の売上高は847億２百万円（前年同期比0.4％減）となりました。

② 頒布会事業

当第３四半期連結累計期間の売上高は60億９百万円（前年同期比9.3％減）となりました。

（ブライダル事業）

ハウスウェディングを中心としたブライダル事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、70億51百万円（前年同期比4.0％増）となりました。しかしながら営業利益は、新規出店に伴う費用増加を補えず68百万円（前年同期比63.5％減）となりました。

（法人事業）

法人向けの商品・サービスを提供する法人事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、28億38百万円（前年同期比0.3％増）となりました。また営業利益は、２億83百万円（前年同期比1.4％増）となりました。

（その他）

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と店舗でのペット用品の販売を行うペット事業を合わせた、その他の事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、ペット事業の撤退により３億52百万円（前年同期比62.4％減）となりました。また営業利益は、39百万円（前年同期は46百万円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて３億22百万円減少し、925億64百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ４億92百万円減少し、457億55百万円となりました。これは、商品及び製品が47億24百万円、その他が５億85百万円それぞれ増加した一方で、未収入金が36億46百万円、現金及び預金が22億59百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。また固定資産は、有形固定資産が６億84百万円、無形固定資産が４億15百万円それぞれ減少した一方で、投資その他の資産が12億69百万円増加したことにより前連結会計年度末に比べ１億69百万円増加し、468億８百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ２億33百万円減少し、368億29百万円となりました。これは、その他が24億72百万円、短期借入金が22億80百万円それぞれ増加した一方で、ファクタリング未払金が42億94百万円、支払手形及び買掛金が８億76百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ14億83百万円減少し、94億９百万円となりました。これは、その他が９億11百万円増加した一方で、長期借入金が16億97百万円、社債が７億円それぞれ減少したことが主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億93百万円増加し、463億26百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が11億21百万円、土地再評価差額金が３億21百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。この結果、自己資本比率は50.0％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、平成25年７月25日に発表いたしました当期（平成25年１月１日～平成25年12月31日）の業績予想に変更はありません。しかしながら、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,452	5,193
受取手形及び売掛金	6,663	6,702
商品及び製品	16,644	21,368
未収入金	9,951	6,305
その他	5,824	6,409
貸倒引当金	△289	△223
流動資産合計	46,248	45,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,050	13,555
土地	11,908	11,133
その他（純額）	2,215	2,800
有形固定資産合計	28,174	27,489
無形固定資産		
のれん	2,278	2,164
その他	3,995	3,693
無形固定資産合計	6,273	5,858
投資その他の資産		
投資有価証券	5,950	7,185
その他	6,558	6,592
貸倒引当金	△317	△317
投資その他の資産合計	12,190	13,460
固定資産合計	46,639	46,808
資産合計	92,887	92,564

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,073	7,197
短期借入金	3,405	5,686
1年内償還予定の社債	700	700
ファクタリング未払金	13,993	9,699
未払法人税等	207	137
販売促進引当金	307	561
その他	10,373	12,846
流動負債合計	37,062	36,829
固定負債		
社債	1,850	1,150
長期借入金	6,993	5,296
退職給付引当金	34	37
その他	2,015	2,926
固定負債合計	10,892	9,409
負債合計	47,955	46,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,359	20,359
資本剰余金	21,038	21,038
利益剰余金	13,581	13,498
自己株式	△2,775	△2,776
株主資本合計	52,203	52,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△578	542
繰延ヘッジ損益	438	388
土地再評価差額金	△7,041	△6,720
為替換算調整勘定	△89	△4
その他の包括利益累計額合計	△7,271	△5,793
純資産合計	44,932	46,326
負債純資産合計	92,887	92,564

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	102,219	100,954
売上原価	53,973	51,756
売上総利益	48,245	49,197
販売費及び一般管理費	48,117	47,622
営業利益	127	1,575
営業外収益		
受取利息	40	41
受取配当金	84	78
債務勘定整理益	85	184
その他	486	373
営業外収益合計	696	677
営業外費用		
支払利息	186	162
支払手数料	187	－
その他	110	78
営業外費用合計	483	240
経常利益	340	2,012
特別利益		
固定資産売却益	1	4
投資有価証券売却益	22	51
特別利益合計	23	55
特別損失		
固定資産除売却損	95	606
減損損失	－	53
投資有価証券評価損	183	－
特別損失合計	278	659
税金等調整前四半期純利益	85	1,409
法人税等	140	218
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△55	1,190
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△55	1,190

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△55	1,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	269	1,121
繰延ヘッジ損益	377	△49
為替換算調整勘定	△1	61
持分法適用会社に対する持分相当額	－	23
その他の包括利益合計	645	1,156
四半期包括利益	590	2,346
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	590	2,346
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通信販売事業	ブライダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,669	6,779	2,830	101,279	939	102,219	－	102,219
セグメント間の内部売上高又は振替高	454	－	44	499	95	594	(594)	－
計	92,124	6,779	2,874	101,778	1,034	102,813	(594)	102,219
セグメント利益又は損失(△)	△293	187	279	174	△46	127	△0	127

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、店舗でのペット用品の販売を行うペット事業であります。
２．セグメント利益又は損失の調整額△０百万円は、セグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な発生及び変動はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通信販売事業	ブライダル事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	90,712	7,051	2,838	100,601	352	100,954	－	100,954
セグメント間の内部売上高又は振替高	493	－	25	518	101	620	(620)	－
計	91,205	7,051	2,863	101,120	454	101,574	(620)	100,954
セグメント利益	1,184	68	283	1,536	39	1,576	△1	1,575

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、店舗でのペット用品の販売を行うペット事業であります。
２．セグメント利益の調整額△１百万円は、セグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な発生及び変動はありません。